

実はお得な鳥取生活!

鳥取県は、都会に比べ収入が少なく経済的に不利であると思っておられる方も多いのではないのでしょうか。

鳥取県で暮らす世帯の生涯収支をシミュレーションすると、東京都に収入面では劣るものの、物価が安い鳥取県の生涯の平均貯蓄額は約1,434万円と、東京都での生活より約105万円多く、長い目で見れば自由に使えるお金は鳥取県の方が多という結果が出ています。

鳥取県ではこのシミュレーション結果を活用し、県内の高校生、大学生、保護者等に対して、とっとり暮らしのお得感を伝える出前講座を実施(受講者約2,000人(H30.1時点))し、併せて子育て環境の良さや通勤時間の短さ、交通事故発生件数の少なさ等の鳥取県の暮らしやすさについても紹介しています。受講者からは、「大都市に住むことを考えていたが、鳥取に暮らすのも良いなと思った。」という声を多数いただきました。

進学先、就職先を考える際には、「鳥取生活は実はお得!」なことも検討材料の一つに加えてみてください。

問合せ先 県庁子育て応援課
【電話】0857(26)7573 【FAX】0857(26)7863

ファイナンシャルプランナーによるシミュレーション結果

項目	鳥取県	東京都
一生涯の平均貯蓄額	約1,434万円	約1,329万円
収入		
高卒初任給	148,200円	177,900円
大卒初任給	178,100円	209,600円
20~24歳の平均月給	193,200円	242,900円
25~29歳の平均月給	220,200円	299,000円
支出		
家賃平均月額	41,372円	78,552円
教育費月額	7,682円	19,518円
65歳までの住居費用総額	約4,272万円	約6,967万円

ランキングでみた鳥取県の魅力

待機児童数(4月1日現在)	0人(H29)	全国1位
10万人あたり交通事故発生件数	204件(H26)	全国1位
世帯主の片道通勤時間	18.2分(H25)	全国2位
10万人あたり医療施設従事小児科医師数	34.7人(H26)	全国2位

コラム

鳥取県の人口は近年減少傾向565,002人(H29.11.1現在)前年同期比:4,399人減少
特に若年世代の流出が多く、平成29年3月の県外転出者(3,597人)のうち、20~24歳が最多の1,126人、次いで15~19歳の463人となっている。

PTA研修会等への講師派遣のご案内

県教育委員会では、PTA研修会等に無料で講師やファシリテーター(進行役)などを派遣する事業を行っています。(講師等への謝金、旅費は県教委が負担します。)ぜひご利用ください。

事業名	講師等	目的、講演内容のテーマ例など	問合せ先	その他
「とっとり子育て親育ちプログラム」ファシリテーター派遣事業	「とっとり子育て親育ちプログラム」ファシリテーター(進行役)	子育てや家庭教育について楽しく話し合える場を提供し、仲間づくりを進める参加型研修会です。 ●我が家のルール ベスト3 ●「10秒の愛」で子どもを幸せに ●子どものすること なすこと イライラ お助け隊 など ※小学校課のホームページにプログラムを掲載しています。	県教委小中学校課 電話:0857-26-7521 FAX:0857-26-8170 メール:shouchuugakkou@pref.tottori.lg.jp	●研修会開催日の原則1ヶ月前までにお申し込みください。 ●講師への謝金、旅費は県教委が負担します。(年間無料派遣回数には上限があります。)
家庭教育アドバイザー派遣事業	家庭教育アドバイザー	家庭教育や子育てについて専門知識や経験がある家庭教育アドバイザーが講演を行います。 ●親として大切にしたいこと ●親子の会話や関わり方 ●あいさつ・生活習慣の重要性 など	同上	小中学校課 http://www.pref.tottori.lg.jp/katei/
人権教育プログラムファシリテーター派遣事業	人権教育プログラムファシリテーター(市町村人権教育推進員・鳥取県人権教育アドバイザーほか)	学校・家庭・地域が一体となったいじめ防止に向けた取組を一層推進することを目的とし、以下のようなテーマを扱った「参加型」の学習会を実施します。 ●子どもの自尊感情 ●仲間づくり ●よりよい人間関係 など	県教委人権教育課 電話:0857-26-7534,7535 FAX:0857-26-8176 メール:jinkenkyouiku@pref.tottori.lg.jp	平成30年度の定数は20校程度を予定しております。学校へ募集の通知を行いますが、募集の通知(5月上旬予定)がありましたら、早めにお申し込みください。
人権学習講師派遣事業	臓器移植コーディネーター、拉致被害者家族等 人権問題にかかわる当事者や関係者の方	当事者や関係者の方の話を聞き、人権尊重の社会づくりのために自分に何ができるかを考えることを目的とし、以下の学習会を実施します。 ●移植医療を通してのいじめについて考える学習会 ●拉致問題人権学習会	同上	平成30年度の学習会については、4月に学校を通じて希望調査を行う予定です。
鳥取県子ども読書アドバイザー派遣事業	子ども読書アドバイザー	子どもの読書に関する専門的な知識や読み聞かせ等の豊富な経験を持つ子ども読書アドバイザーを派遣します。 ●読み聞かせのポイント ●絵本の選び方 ●子育てと読み聞かせ など	県教委社会教育課 電話:0857-26-7943 FAX:0857-26-8175 メール:shakaikyoku@pref.tottori.lg.jp	研修会開催日の1ヶ月前までに申し込みが必要です。
ケータイ・インターネット教育啓発講師派遣事業	ケータイ・インターネット教育推進員	電子メディア機器とのよりよい接し方について学ぶことができます。 ●インターネットやゲームと子どもの育ち ●インターネットトラブルの対処法 ●家庭でのルールづくり など	特定非営利活動法人子ども未来ネットワーク(委託) 電話:0858-22-1960 FAX:0858-27-0271 メール:media@kodomomirai.kirara.st	研修会開催日の1ヶ月前までに申し込みが必要です。※親子学習も対象です。

お知らせ・イベントコーナー

事前申込が必要なものや集合場所が決まっているイベントもありますので、詳しくは、お電話等でお問合せください。

イベント名	開催期間	時間	場所	問合せ先	その他
ブレ宿泊学習 1泊2日	3月10日(土)~11日(日)	(10日) 11:30~ (11日) ~9:50	県立大山青年の家	県立大山青年の家 電話:0859-53-8030 FAX:0859-53-8265	参加費用:1人2,200円程度 申込期限:2月22日(木) 対象:小学3,4年生とその家族 定員:20家族
ちっちゃい探検隊③ 1泊2日	3月10日(土)~11日(日)	(10日) 10:00~ (11日) ~15:00	県立船上山少年自然の家	県立船上山少年自然の家 電話:0858-55-7111 FAX:0858-55-7119	参加費用:1人3,300円 申込期限:2月22日(木) 対象:小学校1~3年生 定員:48名
春の親子フェスティバル	4月29日(日)	9:00~15:00	県立大山青年の家	県立大山青年の家 電話:0859-53-8030 FAX:0859-53-8265	参加費用:無料 コースによって実費あり 申込:不要 対象:幼児~一般 定員:なし(先着順で定員ありのコーナーもあります)
親子エンジョイカヌー 日帰り	5月12日(土)~13日(日)	9:00~15:30	大山町赤松の池	県立大山青年の家 電話:0859-53-8030 FAX:0859-53-8265	参加費用:1人800円程度 申込期限:4月12日(木)~25日(水) 対象:小学生以上の親子 定員:各日80名ずつ
スキルアップセミナー① 1泊2日	5月19日(土)~20日(日)	(19日) 10:00~ (20日) ~15:00	県立船上山少年自然の家	県立船上山少年自然の家 電話:0858-55-7111 FAX:0858-55-7119	参加費用:無料 (食費・保険料・シーツ代・活動費は施設負担) 交通費は自己負担 申込期限:4月5日(木)~5月7日(日) 対象:大学生・短大生 定員:40名程度
大山ファミリー登山	5月26日(土)	8:00~16:30	大山下山キャンプ場集合	県立大山青年の家 電話:0859-53-8030 FAX:0859-53-8265	参加費用:1人200円程度 申込期限:4月26日(木)~5月10日(木) 対象:小学3年生以上の家族 定員:50名

よりよい紙面づくりのために
ご意見をお寄せください。

問合せ先 送り先 〒680-8570(住所記載不要) 県教育委員会教育総務課
電話 0857(26)7926 FAX 0857(26)8185 E-MAIL kyouikusoumu@pref.tottori.lg.jp
バックナンバーはホームページをご覧ください。 http://www.pref.tottori.lg.jp/yumehiroba

とっとり夢ひろば!

平成30年2月 Vol.91 編集・発行/鳥取県教育委員会 年5回発行

目次	1	1	4
—STOP!いじめ・あったかい風をみんなで吹かそう—	1	1	4
いじめ問題や仲間づくりについて一緒に考えることができました。	1	1	4
いじめの未然防止や仲間づくりにつながる学校や地域での取り組みの発表	2	2	5
岩美町立岩美北小学校 岩美北小発!! 学校・家庭・地域総出のいじめ0!への環境づくり	2	2	5
鳥取市立西中学校PTA ミツパチわくわくカフェからのメッセージ	3	3	5
鳥取市立中学校代表生徒 わたしたちのスマイルアップ計画	3	3	5
藤平敦さん(国立教育政策研究所)による講演会 自分ファーストから相手ファーストへ	3	3	5
中学生・高校生・PTA代表者によるパネルディスカッション STOP!いじめ・あったかい風をみんなで吹かそう	3	3	5
参加者アンケートから	3	3	5
毎月17日は、みんなでストレッチ!	8	8	8
毎月17日は「柔軟の日」	8	8	8

—STOP!いじめ・あったかい風をみんなで吹かそう—

12月10日(日)、県民ふれあい会館(鳥取市)で行われた「こども未来フォーラム」で、たくさんの方々とともに、いじめ問題や仲間づくりについて一緒に考えることができました。

いじめの未然防止や仲間づくりにつながる学校や地域での取り組みの発表

岩美町立岩美北小学校 岩美北小発!! 学校・家庭・地域総出のいじめ0!への環境づくり
学習発表会に向けていじめ問題を題材にした台本作り、人権の花や人権カレンダー作成に託した思いを、児童・教員・保護者がそれぞれの立場から発表されました。

鳥取市立西中学校PTA ミツパチわくわくカフェからのメッセージ

生徒たちの表情豊かなスライドショーとともに子どもたちのメッセージを伝え、保護者と教員が心を合わせて練習した「いのちの歌」を手話と歌で表現されました。

鳥取市立中学校代表生徒 わたしたちのスマイルアップ計画

各学校の仲間づくりの取り組みを紹介しながら、姫路市と鳥取市の代表生徒がつくり、これまで大切にしてきた「Smile10項目」を参加者と一緒に読み合い、笑顔あふれる学校や地域をつくることを宣言されました。

問合せ先 県教育委員会 いじめ・不登校総合対策センター 【電話】0857(28)2362 【FAX】0857(31)3958

藤平敦さん(国立教育政策研究所)による講演会 自分ファーストから相手ファーストへ

国会での野次問題を取り上げ、いじめは周りにいる人たちの雰囲気次第で防ぐことができることを説明された後、「まず自分という姿勢ではなく、相手の話をしっかりと聞くこと」「互いに認め合って誰もが安心できる集団をつくること」などを提案されました。

中学生・高校生・PTA代表者によるパネルディスカッション STOP!いじめ・あったかい風をみんなで吹かそう

藤平敦さんをコーディネーターとして「どうすればいじめの解決につながるのか。あったかい風をみんなで吹かせるのか」をディスカッションしました。生徒たちは一緒に立ち向かっていく仲間を増やしていくことやいじめを受けた友達といじめをした友達の双方の声を丁寧に聞くことの大切さを、PTA代表者は困ったときは大人を頼ってほしいことなどの思いを発表されました。

参加者アンケートから
●まずは他人を認めることから始めたいと思いました。
●3つの発表、パネルディスカッション、生徒の皆さんの発言に勇気をいただきました。
●私たち教師はいじめは絶対に止めるという決意・覚悟を持たなければならぬと思っています。そういう思いを職員や生徒に伝えています。

あったかい風をみんなで吹かそう 缶バッジデザインコンクール 最優秀作品

小学校低学年の部 八木 隼子さん 鳥取市立修立小学校2年	小学校中学年の部 森脇 悠月さん 米子市立淀江小学校4年
いじめがないみんながなかよになれるわがひろがるように、ひとびとをわにしました。	あったかい風にとんでいしゃぼんまて鳥をかきました。やさしい気持ちになれるよ花もかいてみました。みんなの心がやさしくなれますようにと思いつながりました。
小学校高学年の部 大原万由子さん 倉吉市立河北小学校6年	中学・高校生の部 寺坂 怜南さん 鳥取市立桜ヶ丘中学校2年
少しの思いやりで、あったかい風を吹かせることができ、その風でたくさんの人に笑顔がとどいて、心がわたるようにつながりたいと思いつながりました。	一人じゃないことを伝えたくてかきました。ピースサインが星の形になるように5人分の手を並べました。

平成29年度 鳥取県特別支援学校技能検定開催! ~挑戦! 未来につながる第一歩!~

検定の様子 日にち:平成29年10月5日(木)、6日(金) 場所:県立琴の浦高等特別支援学校

働く意欲の向上と就労の促進を目指し、特別支援学校高等部生徒が身に付けた知識、技能、態度等を一定の基準により評価し認定する「鳥取県特別支援学校技能検定」の開催が今年度で4回目となりました。年度を重ねる中で、特別支援学校生徒の目標の一つとして定着し、生徒が自分の限界に挑戦し、身に付けた力を試す場となっています。

今年度の技能検定においても、自分の技能に自信を持って本番に望む生徒や、初めての検定挑戦を終えて緊張から解放されホッとする生徒、認定証の授与がうれしくて涙ぐむ生徒など、生徒の技能検定にかける思いの強さや、生徒がより高い級を目指して努力してきた様子を感じられました。

実施種目	級別の認定状況
清掃部門	
チャレンジ検定	1級5名、2級2名
マスター検定	2級2名
マスタースター検定	1級15名、2級3名
喫茶サービス部門	
清掃部門	1級4名、2級3名、3級2名
マスタースター検定	1級1名、2級6名、3級2名、4級11名、5級1名、6級1名

清掃部門生徒感想
僕ははじめて技能検定に参加しました。本番に向けて、練習をしていこううちに本気で上の級をねらうようになりました。練習ではコードが幅木にからないようにする事に気がついていました。

喫茶サービス部門生徒感想
私は1・2級を目標に練習をいっぱいがんばりました。お客さんがきたときは、すこく緊張して思うようにいかなかったけど、実習で喫茶店に行くので、検定でやったことが生かされればいいなあと思いました。

問合せ先 県教育委員会特別支援教育課 【電話】0857(26)7575 【FAX】0857(26)8101